

道具で変わる! 効率アップ 清掃術

共用部清掃は 「上から下へ」が基本

家の中の掃除に比べ清掃範囲が圧倒的に広いアパート・マンションの共用部。どのような流れで清掃を進めるかで、作業時間・作業負担は大きく変わってきます。

共用部清掃はどのような流れれば効率よくキレイにできるのでしょうか。

基本ルールは3つです。
 ①「上↓中↓下」の順番で清掃する。
 ②時計回りで清掃する。
 ③汚れている場所から清掃する。

①から順にご説明いた



③ ▶まず上部分をチェックし、次に手すりなど、最後に床を掃除しましょう。

第8回

順番を定めるだけで効率UP。3つのルールでムラ・ムダをなくす

この連載では、アパートやマンションの清掃をもっと楽に、きれいにする方法を、使用する道具とその使い方を交えながら伝授します。

第8回は『清掃の順番を決めてムダをなくす』です。清掃も一定の順番の流れを決めるとそれに従ってムダな動きが削除され時間が短縮されていきます。特に、広い共用部清掃は手際の良さが求められます。

します。ホコリもゴミも重力に従って上から下に落下していきます。それゆえ、掃除の基本は「上から下へ」が鉄則。共用部清掃も同様で、目につくところから清掃をはじめていってしまおうと、床を掃き終わった後に天上のクモの巣を見つけ、「何度も何度も床を掃き直す」という事態になりかねません。共用部清掃の場合、「上↓中↓下」

「やり残し」を防ぐ方法が、ルール②の「時計回りで清掃する」です。清掃する空間に対し壁づたいに時計回りで清掃する、というルールに基づいて進めていけば、漫然と掃除を進めていく場合に比べ、やり残しが出る確率が低くなります。例えば通路を清掃する場合、手すり壁側からスタートし、突き当たりまで

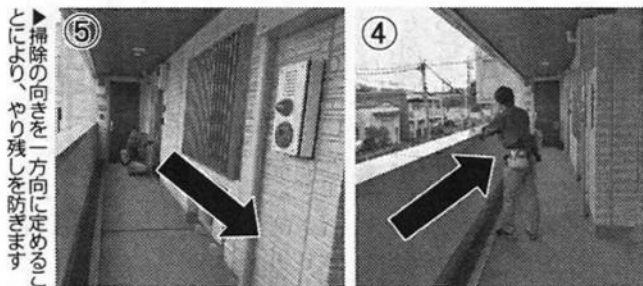
一定の流れを決めムダな動きを排除する

の3段階で清掃を進めていくことで、掃除のムダ・ムラがなくなります。例えば、通路を清掃する場合、通路を清掃する場合は次の順番に進めていきます。

①【上の箇所】天上のクモの巣を払う②【中の箇所】ドアまわりや手すり・笠木の手すり払い・拭き掃除をする③【下の箇所】床の拭き掃除をする。【写真①・②・③】

時計回りで清掃し「やり残し」を防ぐ

共用部のような広いスペースを清掃する際によくやってしまう失敗のひ



⑤ ▶掃除の向きを一方に定めるとにより、やり残しを防ぎます

清爽の極意三カ条

- 【壹】上↓中↓下の順番で清掃すべし
- 【貳】時計回りで清掃しやり残しを防ぐべし
- 【参】全体を確認し、汚れた場所から清掃すべし

④・⑤。そうすることになります。

で、不足、やり残しのない全体に行きわたった清掃を行うことができます。外まわりの清掃も同じで、駐車場や駐輪場のスペースが広くとられていても、「時計回りで清掃する」と決めておくことで、ムラなく清掃を進めることができます。

汚れている箇所から清掃する

汚れている箇所から清掃する

共用部清掃の範囲を大きく3つに分けると次のようになります。エントランス部、通路・階段部、外まわり（ゴミ置き場を含む敷地内）。では、どこから清掃すればいいでしょうか？ 先に挙げたルール①に従えば、「高いところ」にあたる建物の最上階から下に下りていき、エントランス、外まわりの順番で清掃するこ

出版社・編集プロダクションの編集者を経て、2003年金子商事・ダスキン中目黒店に入社。ハウスクリーニングやアパート・マンションなどの清掃現場を担当。2010年、中小規模のアパート・マンション・オフィスに特化した巡回清掃を行う「たてものサービス」設立。「人も建物も爽やかに」をモットーに、月間約500物件の「巡回点検・清掃」を行っている。



たてものサービス
代表取締役
鈴木範之

(毎週第1週掲載)